



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 23 年 8 月 5 日(金)
のしろまち灯り・夏 開催ダイジェスト 編

今年も、「のしろまち灯り」の夏がやってきました！
このイベントは、能代の特色である「木材」を活用し、環境に配慮したまちづくりを目的に、毎年夏・冬開催しています。
今回の夏の開催も、国道7号沿い(ホテルエイトさん隣)を会場とし、ご家族連れをはじめとするたくさんの方々にご来場いただきました。

当日は、暑すぎるくらいの良いお天気。
朝から始まった会場設営は、来場者の休憩場所となるウッドデッキスペースを昨年の「2倍」確保するため、運搬・設置する機材も2倍、しかしスタッフの人数は昨年なみということで、スタッフの皆さんは大変な労力と、暑さにも配慮しながら作業を進めました。
心配された夕方からの雨の予報も当たることなく、最近のまち灯りは良いお天気に恵まれるサイクルとなってきました。

午後4時から、いよいよイベント開始。
会場内は、来場者の方々が座って休めるウッドデッキや木製ベンチ、木製の「乱横断防止柵」の展示、ウッディさんによる「ウッディ動物園」、黒松の抽出オイルを入れた「足湯」など、様々な状況で木とふれあえる空間となっており、お子様連れの来場者が多いこの会場では特に大盛況でした。

また、屋台コーナーでは、上町すみれ会のかき氷、すみれケーキや、常盤ときめき隊の人気の焼き鳥などに加え、今回は「福島応援フェア」として喜多方ラーメンや起き上がり小坊師などが販売され、人気を博していました。また黒松友の会によるじゃがバターは、会員が自宅で収穫したじゃがいもを使用。お隣で能代名物「豚なんこつ」を販売していたやま久さんからプロのアドバイスをいただき、皆さんに提供する事ができました。

そして、夜7時。
すぎ灯りや田楽、LEDライトの点灯と同時に「べらぼう太鼓」の演奏がスタートし、大勢の方が聞き入っていました。
べらぼう風をバックに演奏される勇壮な太鼓の音色が、灯りに灯された能代のまちに響きました。

文： 宮腰 朝子



国道7号沿いに様々な「灯り」



少ないスタッフで、暑さと重い機材に奮闘しました。



木とふれあうコーナー満載。ウッディ動物園と黒松の香りに癒される「足湯」



今回初登場。上町すみれ会による「おもちゃ釣り」と黒松友の会による「じゃがバター」



「べらぼう太鼓」さんによる華麗な演奏



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

平成 23 年 8 月 5 日(金) のしろまち灯り・夏 開催 編

平成 19 年から始めた「まち灯り」も今年で 5 年目を迎えます。最初は冬だけの開催だったこのイベントも 3 年前から夏と冬の年に 2 回開催できるようになり、能代のまちに少しずつ浸透度が増してきたように思います。今年は何と秋田名物「ババへら」2 社からも出店依頼があり、秋田県のイベント、チェックリストに載ったことが実証されました。また、NHK でもイベント情報を事前に度々放映していただき、テレビだけでなくラジオでも放送。地元新聞、北羽新報や秋田魁新報でも廃食油のろうそく作りや会議の様子を事前に掲載。マスメディアの力に支えられ徐々に周知拡大されているように思い、継続の重要性を実感しています。

民・学・官で組織されるのしろ白神ネットワークの存在は一般の方々にはどのように映っているのでしょうか。最近、街で会う方々から「能代のために有難う。」と感謝の言葉をいただくことがあります。夢中で走っていると「何の役に立っているのだろう？」と不安になることが多々ありますが、何気ない労いの言葉に救われる昨今です。

今年の夏も昨年と同様の猛暑！ 機材運搬と設置が一番の難関！ みんなで力を合わせて頑張りました。

120 基の田楽は黒松友の会が前日から国道 7 号に設置。幼稚園児や小学生に作ってもらった廃食油のろうそく 200 個は日が暮れる 19 時に点火。その後、能代べらぼう太鼓の演奏が人々を魅了しました。

屋台では初めて黒松友の会がじゃがバターを販売し、大人から子どもまで大人気でした。常盤ときめき隊と上町すみれ会は人手不足を連携でカバーし、焼きそば、野菜、すみれケーキを販売。東日本大震災の風評被害支援として朝市などでも開催している会津若松物産フェアでは、多くの方が購入して下さり、完売しました。

猛暑に欠かせないかき氷は、高校生ボランティアのトリオが頑張ってくれて大繁盛！ 若い力に拍手喝采でした。能代



今年のチラシは市民活力推進課・小野さんの力作です。色使いが女性から好評でした。



今年も朝 8 時半から暑い一日が始まりました。シーニックデッキは組み立てしやすいように改良を加え、多くのお客さんに楽しんでもらえるよう昨年の倍の広さを用意しました。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

名物 B 級グルメの豚なんこつもやま久さんが汗だくで頑張ってくれました。

このイベントで忘れてはいけないのが「木」へのこだわり。毎回、横手市山内から参加して下さるウッディさんないの皆さん。国道 7 号沿線は新興住宅街であるためファミリー世帯が多く、子どもたちがたくさん参加してくれます。そこで、ウッディさんの木の動物園や工作は大人気！ 今年新たにウッディ car も登場し、子どもたちは大喜びです。

黒松の精油を入れた足湯、のしろ黒松の湯には大人も子どもも大満足。いつも、満員御礼状態でした。

今回も新企画がありました。子どもたちが楽しめるものと、魚釣りゲームと水ヨーヨー釣りに挑戦。人手不足の中、担当して下さったのが能代市連合婦人会能代支部の皆さんと私の親友。子どもたちを相手に奮闘していただき、感謝と感激の連続でした。

連携を重ねる団体には「ぐるーぷ・あばんしえ」もあります。今年、マップをリニューアル、イラストは能代在住の若くて可愛いイラストレーターにお願いし、大きな飛躍を遂げました（販売も好調）。昨年から参加していただいている、ニツ井のウェーブさんも写真集を販売。みんな顔の見える間柄となり、とても楽しいまち灯りでした。秋田大学の震災支援Tシャツもおしゃれな感じで素敵でしたヨ。

このようにネットワークの仲間だけでなく、たくさんの方々のお力をお借りしながらまち灯りが実現しています。皆さんの奉仕の心は、誰もが持てるものではありません。尊い私たちの財産です！ 資金がなくてもみんなで知恵を出し合い、優しい人たちが集まって、このまち灯りが開催できるのです。

東日本大震災により東北地域は、ますます衰退して行くことでしょう。特に秋田県は、被害も受けていないのに、何故やる気を出そうとしないのでしょうか。とても不思議です。

私たちは出来ることから……がモットーです。よい行いであればきっと誰かが助けしてくれることを信じて、これからもあゆみ続けます。いろいろなところで、ご協力下さった全ての方に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

文： 能登 祐子



会場に水場がないため、水ヨーヨーのプール用水補給に給水車がきてくれました。ヨーヨー店のお姉さん、誰だかわかりますか？ 木の香る歩道を車が走っても大丈夫なことをじかに確認し、佐々木先生もかなり満足そうです。ネットワークの魅力、民学官連携をいろんな場面で見ることができました。



この日に間に合わせて製作した木の香る道の新たな提案品、木材と鋼材のハイブリット・乱横断防止柵はプロの手であつという間に設置されました。



今年も尋常ではない暑さ。お屋に測ってみたら信じられない数字があらわれました。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

8月4日、能代市働く婦人の家の調理室でのしろまち灯りで売るためのすみれケーキを焼きました。夏場のことで、調理は販売する前日の作業となり、当日作業に参加したのは、すみれ会の方々と私の5人です。

このたび焼いたケーキは、プレーンのパウンド生地にブランデーに漬けたレーズンを混ぜ込むだけというシンプルなもの。焼く個数も100個程度と比較的楽な作業でしたが、暑さのきびしい8月初旬のこと、材料を駐車場に止めた車から調理室へ運ぶだけで汗がダラダラ。幸いにも調理室内は職員の方が冷房をきかせておいて下さったおかげで、快適に作業することができました。

家で焼くものよりもたくさんの材料を使い、大勢の人と一緒にやるケーキ作りは普段は経験できない楽しい作業ですが、次回へ向けて考えておかなければならない課題も。特に、限られた数しか一度に焼くことのできないオーブンに合わせて効率よく生地を作っていくことは大きな課題です。一度に生地がたくさんできていても、先発の焼きあがりを待ってオーブンへ入れないでいる間に、せっかく泡立ってふんわりさせた生地がしぼんでしまうのは、もう少し工夫ができたのではないかと反省しました。

毎回感じるのですが、すべてのケーキが焼きあがった後のなんともいえない達成感は『やっぱり参加してよかった』と思える最高のご褒美でした。ケーキの方もまち灯り当日には完売したとのこと、とても嬉しく思います。

文：相澤 温子



5月から実施している会津若松支援のほか、秋大の学生ボランティア団体による被災地支援のTシャツ販売もありました。



能代工業高校・船山先生のご指導のもと、官学の連携でLEDフットライトを設置しました。



すみれ会の屋台、ときめき隊の焼き鳥は毎回人気ですが、初登場の黒松友の会のじゃがバターも好評を博していました。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

今回はじめて北羽新報社にボランティア募集の掲載をしていただき、応募があるかドキドキしながら待ちました。すると、1人の女子高生から電話があり、とっても嬉しい瞬間でした。去年は女子高生2人と男子高校生1人がかき氷を販売してくれましたが、今年も3人の高校生がボランティアを下さり、お助かり！！その皆さんに、感想を書いていただきました。

今回は「のしろまち灯り・夏」に参加させていただきありがとうございました。短いながら感想を綴りたいと思います。

私はボランティア活動がほぼ初めてで緊張して会場に向かいました。案の定、会場ではスタッフの方々が忙しそうに走り回っているのに、私は何をしたらいいのか分からないでいました。私の他の高校生は慣れている様子で、スタッフの方々に差し入れのかき氷を作っていました。私は頂いたかき氷を手に、レベルの違いに戸惑っていました。

実は私は人と接することが苦手で、かき氷を削ったりする裏方の仕事がしたいと考えていましたが、私の担当は接客になりました。アルバイトをしたことも無いので、お金を勘定するのは遅いし声もだせず、最初は他のスタッフさん達の足を引っ張ってばかりでした。でも、熱心なアドバイスをさせていただいて、暗くなってくる頃には積極的に客引きの台詞を大きな声で言えるようになりました。

先のほうにボランティアはほぼ初めてだと書きましたが、前は能代みなと祭りでごみ処理の活動をしました。そこでは、同世代の人が沢山居たので、私は裏方の仕事ばかりしていました。ですから、今回の接客は、私にとっては逆境に立たされたような心境でした。慣れない状況で緊張や焦りもあり、思わぬ所で足を引っ張ってしまったかもしれませんが、忙しくても思いのほか楽しく、とても充実した活動でした。

今回のスタッフの皆さんは明るく気さくで笑顔が輝いていました。私もいつかこんな風に大人になって、明るく生きていく未来を手に入れたいと思いました。最後になってしまいましたが能登様、このような貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。お役に立てたかどうかは自信がありませんが、一生懸命労働する楽しさを忘れずに、今後の高校生活や就職に活かしていきたいと思います。

文： 芹田 梨奈



ウッディさんないさんの木の動物園、木工教室は今年も大人気！新たな企画、赤と青のウッディ car も登場しました。



黒松友の会の方々を選定した枝・葉から抽出した黒松オイルの入った足湯「のしろ黒松の湯」は、松のほのかな香、子どもたちにも大人にも大人気でした。



子どもたちに大人気といえばやっぱりスキッチ！今年は足が長〜背も高〜い、持久力のあるスキッチでした。



エイト会場では初めての魚つりも子どもたちに大人気でした。



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

「まち灯り」の手伝いに行くととても大変だったのは、かき氷でした。最初はぜんぜんお客さんが来ないので楽だなと思いましたが、夜の 7 時ころになるとお客さんがいっぱい来たのでびっくりしました。お客さんいっぱい来たので氷がなくなる！と思いましたが、あと少しのところに残ってしまったので、とても残念でした。でも、面白かったのでまた今度手伝いたいです。

文：佐々木 康暉

まち灯りでは、かき氷を作るのと生ビールを入れるのをやりました。かき氷を作るのは昨年に続き今年も手伝うことになりました。開店時間から少しずつお客が増えてきて、夜につれて忙しくなりました。

生ビールを入れるのは今年が初めてで、3、4回入れるのに失敗しましたが、手本を見て5、6回こうでは上手く入れることができました。今年も楽しくまち灯りをすることができてよかったです。来年もできれば参加したいです。

文：平山 太梧



デザインを一新、リニューアルしたあぼんしえマップも好評を博していました。



これまでの反省を生かし、ネットワーク関係者だと分かるようにスタッフベストを作りました。夜には暗くても分かるよう背中や胸元が光ります。



ライトアップしたべらぼう凧をバックに、べらぼう太鼓の熱い演奏が続き、たくさんの人が夏の夕暮れを堪能しました。



わずか一夜でしたが、いろいろな灯りが木の香る道を照らしました。

■参加・協力団体

■市民団体等	
○上町すみれ会	社)能代青年会議所
○NPO 法人常盤ときめき隊	能代商工会議所青年部
○能代バイパス黒松友の会	能代市連合婦人会能代市部
○手這坂活用研究会	ぐるーぶ・あぼんしえ
北部市民活動サポートセンター	べらぼう太鼓

■企業	
株式会社北羽新報社	株式会社秋田魁新報社
株式会社ウッディ山内	(株)ウェーブ
ホテルエイト	幸和リース(株)
秋田銀行能代南支店	いとく能代南店
道の駅 十文字・ニツ井	道の駅 鷹巣大太鼓の館
本庄組	山久
NEXCO 東日本東北支社秋田管理事務所	

■公的機関	
○能代市 市民活力推進課・環境企画課・木材振興課・観光振興課・水道課 生涯学習課・子ども館・教育事務所	
○能代河川国道事務所・能代国道維持出張所	
○秋田県山本地域振興局	○秋田県立大学木材高度加工研究所
能代工業高等学校	能代西高等学校
能代北高等学校	

○ 印はネットワークメンバー